

その他

■ 第2回分科会の開催概要

- 開催日時：令和5年10月3日午前10時～【堺市役所本館3階 大会議室2・3】
- テーマ
 - ・SMI都心ラインのめざす方向性
 - ・自動運転等に関する動向と事例について
 - ・正着精度の向上に向けて
 - ・その他
- 委員：波床分科会長、塩見分科副会長、岡本委員、中川委員
- 資料：別添 分科会資料参照

■ 委員の主な意見と市の回答

主な意見

- ・自動運転について、将来レベル4をめざしているのか。
- ・自動運転車両は、一気に全車で導入するのか。
- ・レベル4では、運行管理システムが必要と思われるが、その検討についてはどう考えているか。
- ・自動運転のスケジュール感はどうか。
- ・ターゲットラインペイントなど、長期的な保守についてはどう考えているか。
- ・正着について、どのぐらいの隙間をめざしているのか。
- ・正着について、サービスとして提供されるのは2026年以降か。
- ・車いすの方が自分でバスに乗って降りられる環境づくり、制度づくりを同時に検討していく必要がある。

市の回答

- ・レベル4を見据えて進める。
- ・段階的に進める。
- ・どのようなシステム、体制などが必要か、実験等を行いながら確認していく必要がある。
- ・まずは2024年から2025年にかけて正着の実現を行い、将来レベル4の実現を見据えている。
- ・開発されて間もない技術であり、日常的な管理の課題も含め、今後検討する必要がある。
- ・国交省では、鉄道の隙間について、段差3cm、隙間7cmが目安として示されており、SMI都心ラインについてもまずはこの数値を目標の目安にしたい。
- ・サービスについては、安全性が確保された段階になると考えている。